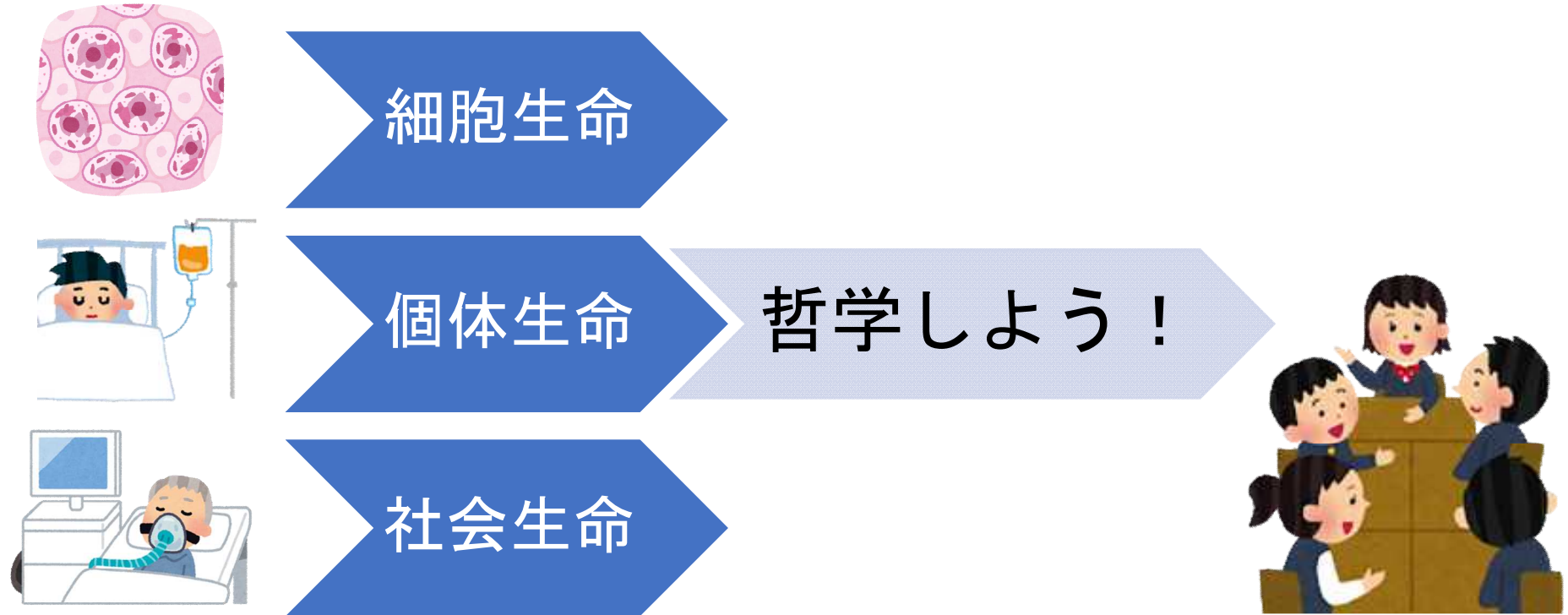


# 生命を多次元で哲学するⅡ



細胞や遺伝子レベルで解明されている疾病を個体レベルの症候として表出される表現形は多彩であり、さらにこのことが個体へ及ぼす影響となると多元的になる。例えば癌においても、年齢、性別、発生臓器によりその様相は異なり、個体は社会におけるヒトとしてこれを捉えていく必要がある。

細胞・個体・社会の接点に生命体として存在する生命を哲学することで、科学的な理解を越え哲学的アプローチにより生命観を考えてみよう！